

発言No. 1

受付No. 2

令和 5 年 8 月 23 日
13 時 20 分 受付

委員会代表質問発言通告書

議席番号 9 番 氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 誰ひとり取り残さない支援体制の充実について
(1) 包括的・重層的な支援体制整備について

- ①浜田市地域福祉計画の基本目標の中でも、重層的支援体制にあたる目標が掲げられています。今後どのように進めていくのか伺います。
- ②生活の困りごとが複合的で複雑化していることから、庁内の連携体制が重要と考えますが浜田市の現状を伺います。
- ③支援体制整備のためのネットワークづくりについて伺います。
- ④断らない相談支援の体制について、浜田市の現状を伺います。
- ⑤無料職業紹介事業の導入についての考えを伺います。
- ⑥生活困窮者自立支援制度の取組体制を伺います。

発言No. 2

受付No. 1

令和5年8月22日
10時 19分 受付

委員会代表質問発言通告書

議席番号 14 番 氏名 布施 賢司

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

産業建設委員会では、これまで公設民営化後の「道の駅」ゆうひパーク浜田の今後についてや、基幹産業でもある第一次産業の農業・林業・漁業について委員会代表質問を行ってきた。今回、商工業、観光業についてその関係者と意見交換を行い、ポスト・コロナ時代へ向けて現状と問題点・課題等について意見を集約した。その集約した意見を基に委員会を代表して質問をし、浜田市の今後の取組について執行部の考えを問う。

1 ポスト・コロナ時代の支援策について

(1) 中小商工業者に寄り添った支援策について

- ① 中小商工業者に寄り添った支援策は、雇用を維持し地域経済を守るうえで極めて重要である。新型コロナの影響を受けた中小企業が、実質無利子・無担保で融資を受けた、いわゆる「ゼロゼロ融資」の返済が7月から始まった。「売り上げは回復傾向にはあるが、『ゼロゼロ融資』の返済が負担となり、新しいチャレンジができない」という声なども出ている。資金に余裕を持たせるための新たな融資策や、必要なときに背中を押す市独自の支援策が必要と考えるが、市長の所見を問う。
- ② プレミアム付「はまだ応援チケット」には消費喚起や売上増加など効果があり、特に地元企業は大いに恩恵を受けた。これまでの問題を整理した上で、良い政策については引き続きプレミアム率を下げてでも実施していただきたいとの要望があるが、市長の所見を問う。
- ③ 全国の様々な地域で新たな経済の流れとなるデジタル地域通貨は、金融分野に新しいサービスを取り入れたフィンテック（金融×IT）であり、本市において地域金融機関が「イノベーション」する取組としては必要だと考える。地域活性化のためにも導入するべきだと思うが、市長の所見を問う。

- ④ 製造業など光熱費、原材料費が高騰（電気 1.4 倍、ガス 1.7 倍）しており、商品への価格転嫁はなかなかできないが、このままでは価格改定をせざるを得ない状況である。

少しでも光熱費や物流コストの高騰に対する支援や、関東圏や国外への商談会及び研究提携への支援、そして浜田や石見のブランドを拡散できる方策が必要と思うが、市の考えを問う。

- ⑤ 市外・県外資本が増え、このままでは地域の小売店が全滅するのではないか。買い物弱者対策として、移動販売を考えるが採算が合わないと聞く。今後は独居、免許返納に伴う交通弱者対策が必須となるが、経済活動や交通支援の移動販売と福祉サービスの介護弁当などをセットにしたような複合的なサービスの提供ができるよう、行政の縦割りの弊害を排除し、事業補助に対する制度設計の見直しを図ってほしいとの意見があったが、市の考えを問う。

(2) 観光業について

- ① 美又温泉の泉質はとても良いと好評だが、施設の外観が良くないとの声が多数ある。ハード面を改善すれば自信を持って広島からお客を連れてこられると意見があった。

このたび、観光庁の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の地域計画が採択されことによるハード面の整備を期待するが、具体的な整備計画や、利用可能な空き地の利用などについて問う。

- ② 石見神楽の振興については国庫補助金の採択を受け、インバウンドの地方への誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業では、実行委員会を組織して実施しているが、具体的な事業内容や支援策を問う。

- ③ 魅力ある観光資源の PR 不足をいまだに感じるが、SNS 等を利活用する若い世代へのアピールの仕組みづくりとして、大田市が進める「遊ぶ広報」を調査・研究して、本市が進めている関係人口会員などと連携させた取組等はできないか伺う。

発言No. 1

受付No. 2

令和 5 年 8 月 17 日
15 時 35 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 8 番 氏名 川 上 幾 雄

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 浜田市の公有財産について

(1) 浜田市における公有財産（行政財産・普通財産）について

- ① 公有財産のうち行政財産とはどのようなものを問う
- ② 公有財産のうち普通財産とはどのようなものを問う

(2) 公有財産の現状について

- ① 平成 26 年度以降の行政財産の推移を問う
- ② 平成 26 年度以降の普通財産の推移を問う
- ③ 公有財産の維持管理の費用削減の方策を問う

(3) 行政財産の公共施設再配置実施計画について

- ① 行政財産を公共施設として振り分け再配置計画を行う理由を問う
- ② 再配置計画対象施設の増減理由について問う

(4) 公共施設再配置実施計画の現状について

- ① 平成 28 年度以降の効果を問う
- ② 令和 5 年度の効果予定を問う

令和 5 年 8 月 14 日
8時 30 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 15 番 氏名 岡 本 正 友

答弁を求める者

☐ 市長

☐ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

(口をつける)

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員長

発言項目及び要旨

【地域支援について】

1 相続土地の登記義務化（令和 6 年）と国庫帰属制度について(SDGs15)

所有者不明土地等の発生の予防と利用の円滑化の両面から民法等が一部改正され、「相続土地国庫帰属法」が本年 4 月より施行。遺産を分割しないまま相続を繰り返す共有者の不明から合意形成ができなくなり困難に陥る市民からの相談により質す。

(1)民法等の一部改正及び相続土地国庫帰属法の新設について

① 法改正及び新設の背景について問う。

(2)地域への影響と対応について

① 所有者不明土地の実態と遺産相続の現状の認識を問う。

② 地籍調査の実施状況と今後の課題とその対応について問う。

2 浜田管内の貿易港(浜田港・三隅港)の活用支援について(SDGs9)

先般、神戸税関の本年上期の貿易概況が示された。浜田市はこれまでコロナ禍の貿易への影響を視野に支援を行っているが、今後の関与と支援について質す。

(1)浜田港の貿易等について

① 境、浜田両税関支署の貿易港の輸出入の現状の認識を問う。

② 県の福井第2上屋の施設活用状況と周辺港湾関連用地の利活用について問う。

③ 企業の貿易推進支援を問う。

3 若者の定住対策と企業誘致施策について(SDGs11)

当市においても児童生徒数の激減から小中学校の統廃合が進められ、さらには周辺の高校の統廃合議論もいよいよ現実化しつつある。少子化対策として、若者を定住させる方策について産官学民をあげての取組の必要性から、その支援策を質す。

(1)若者の定住対策と誘致企業施策について

① 浜田市及び周辺市町村の誘致企業の実態及び就職状況を問う。

② 高校のあり方や配置等の説明会に臨んだ教育長の所見を問う。

③ 若者の定住に向けての関わりについて市の考え方を問う。

令和5年8月24日
時 分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 3 番

氏名 大谷 学

答弁を求める者

☒市長 ☒教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 東公園周辺の総合的環境整備について

(1) 文教ゾーンの再開発事業について

- ① NTT 黒川町社宅建物撤去工事が令和5年12月22日までの予定で行われている。電電公社から民営化され民間会社となったとはいえ、この場所は元陸軍歩兵21連隊の演習地、つまり元国有地である。また、現在は文教ゾーンでもあり、東公園の一角に位置することから、撤去後の活用等について何らかの相談が浜田市にあってしかるべき場所と思う。このような状況に対し市は何を把握し、どのような認識なのかを伺う。

2. 子育てしやすい都市環境行政について

(1) 「身近な公園整備基本方針」について

- ① 今年3月に策定された「身近な公園整備基本方針」で目指すものは何かを伺う。

(2) 公園の整備状況について

- ① 駐車場や水洗トイレ、さらに子ども向け遊具やバレーボールコート程度以上の広さでボール遊びが可能などすべてが整った公園は、市設置以外の公園も含めて市内に何カ所あるか、その数およびその公園の例を伺う。

(3) 利用者の視点に立った公園設備の周知内容の提案について

- ① 「はまだ子育て応援アプリ すくすく」を見ると公園内に遊具・トイレ・駐車場の有無と公園の位置を示すマップの基本情報の他に Web に誘導し公園内の写真を見ることができる。これをさらに充実させていく必要がある。

遊具・トイレ・駐車場の位置や遊び場の広さがわかるように公園の全容を示すイラスト風の「敷地全体の案内図」を掲載して現地に行かなくても公園の概要が理解できるようにすべきと思う。親子で行ってみたいくなるように、さらに住んで良かったと思ってもらえるような配慮があると利用しやすいと思うが、考えを伺う。

3. 自己肯定感等を高める体験活動の推進について

(1) コロナ後における体験活動の実施状況について

- ① 新型コロナウイルス感染症に伴い小中学校における郊外での宿泊体験活動は減少したと思われるが、5 類移行後において回復の傾向にあるのかどうか現状を伺う。

(2) 体験活動の位置づけについて

- ① 学校教育において体験活動の意義をどのように捉えているのか、その認識を伺う。

(3) 近年の児童生徒における自然体験・社会体験の量的質的な現状について

- ① 携帯電話の所持の低年齢化や家庭内事情、スクールバスによる登下校など様々な要因により自然体験や社会体験が量的にも質的にも少なくなっているのではないかと危惧する。教育委員会としては、この現状をどのように受け止め改善しようとしているのか、その認識を伺う。

発言No. 4

受付No. 9

令和5年8月24日
8時 45分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 16 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、協働のまちづくり推進で取り組むべき課題について

- ① 協働のまちづくりのうち、まちづくりセンターについて見直しを行い、新しい形で進められることになるが、制度が始まり5年度まで実施してきて、どのような具体的な課題があって、これから何をどのように改革していく考えか。
- ② 協働のまちづくりを進めるとして、縦割りの弊害が影を落としており、地域協議会、まちづくり組織、連合自治会、自主防災、地域福祉などが、地域で個々に組織化され横の連携がとりにくく、地域での連携、全市一体で進める態勢にないが、これら組織の整理統合、再編、名称の統一などを進める考えはないか。

2、介護保険事業計画策定の課題について

- ① 介護保険計画が策定されるが、前期実績に比べ今期の実績は、介護保険料、介護認定率、介護給付費総額、一人当たり介護給付費、介護保険サービス利用者数などはどう推移しているのか。
- ② 介護保険事業と背中合わせにある、市民の健康づくりの充実が必要であるが、一人当たり医療費の推移はどのようになっていて、そこにどのような課題があるのか。

3、国民スポーツ大会を控えスポーツによる浜田市の元気づくりについて

- ① 令和12年には第84回国民スポーツ大会が開催され、浜田市では多くの競技の会場となり、競技場の整備、競技団体の育成、競技の普及などの課題があるが、どのような方針を持ち、具体的な計画を立てているのか。
- ② 今年度始められたエキスパート指導者招聘事業では、どのような事業、活動を展開し、どのような成果があったのか、所見を伺う。

4、郷土資料館の建替え整備について

- ① 平成29年にされた、石見郷土研究懇話会の岩町功会長ほか10数団体からの、歴史文化行政の推進の陳情はどのような内容で、それに対してどのように回答し、陳情の主旨に叶うようどのような施策を、事業を進めてきたのか。
- ② この陳情で述べられている、「歴史史料の収集・保存・公開の体制」、「市民活動の支援・市民団体の育成」、「歴史資源・未開史料の発掘」などは、どのように取り組み、どのような推進状況なのか。

5、国際交流を進めインバウンドを取り込むことについて

- ① インバウンドを進める国策からも、海外友好都市協定を締結している都市との交流は重要であるが、いまどのように交流を進めているのか。
- ② 国際化や国際交流は、浜田市にとって重要な政策であり、国際交流協会や民間の友好親善交流団体の育成や支援が必要であるが、それら団体などはどのような活動をしどのような事業をしているのか。

—以上—